

# 話すこと[やり取り]とは？(pp.79-80)

- ・外国語学習を開始したばかりである中学年では？

→英語を使ってやり取りができたという**達成感**をもたせる

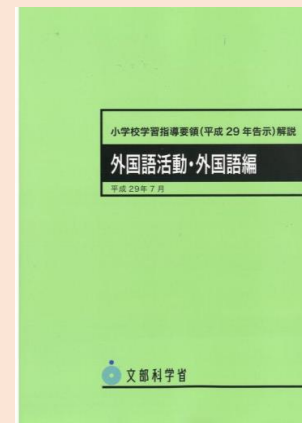
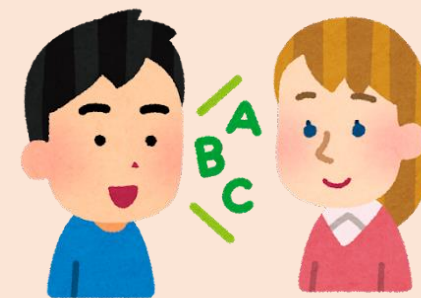
→**指導者や友だちのサポートを受けながら**、やり取りを進めていく

→簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたり

する**体験を十分に**しておく(p.22)

- ・中学年での経験

→高学年の「**その場で質問をしたり質問に答えたりする**」ことの充実につながる



# 話すこと[やり取り]とは？(pp.79-80)



- 高学年の外国語科では…

→質問したいことを自分で考えて質問したり、質問に対して自分で考えて答えたりし、**自分の力で伝え合うこと**を目指している。

- 簡単な語句や基本的な表現を用いてのやり取りではあるが、**その場で**質問したり、答えたりすることができるようになることを求めている。

- 高学年での経験

→**中学校での簡単な語句や文を用いて即興で話すことへとつながる**

# やり取りが継続するように…(pp.106-107)

**繰り返し** “You like *sushi*.”

**応答** “Me too.”

**質問** “Do you like it?” “How about you?”



1. 教師が児童と身近な話題について英語を使って簡単なやり取りを
2. 1のような指導機会を**継続的に**
3. 教師が当該表現を**意識的に繰り返し**使用する
4. **段階的に**児童同士がやり取りをする機会をもてるように

# 「話すこと[やり取り]」における指導と評価のポイント(p.57)

- ペアになる相手によって条件が変わる
  - 学期に1回程度のパフォーマンス評価において条件を一定に
- “I like dog.” や “I want bag.” など、複数形のsや不定冠詞のaについて
  - これらは「**文法事項**」と捉え、評価の対象とはしていない。
  - 誤りをそのままにしない**、”You like dogs.” “I like dogs, too.”  
などと**正しい形で繰り返す**。
  - 児童がその違いに**気付けるよう**指導を行う。



# その場で質問したり、答えたり…(p.108)

・最初は難しさを感じる

→すぐにできないのは自然なこと

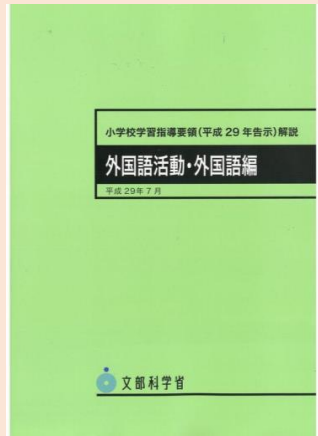
1.指導者が、児童の**話す内容**に共感したり驚いたり喜んだりする

2.正しく使えていたかだけでなく、**話されている内容そのもの**にも意識を

3.**長いスパン**で…

→すぐにできない

→活動後すぐ…△「質問できましたか」「答えることができましたか」



# 話すこと[やり取り]のまとめ

- 中学年からの体験を積み重ねる

中学年…サポートを受けながら、やり取りを進める

高学年…自分の力でその場で質問したり、質問に答えたりする

中学生…簡単な語句や表現を用いて即興で話す

- 長いスパン 「すぐにはできない」
- 内容そのものにも指導と評価の意識をむける

→内容を指導と評価のスタートラインとする